

その他の食料品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	作業場のゴミの入った袋を、1m程離れた場所にある別棟のゴミ庫に捨てるために外に出て、数センチ程積もっていた雪を足で払った際、滑って転んだ。その際に肩を打ち、痛みは無かったので休憩に入り作業に戻ったとき、肩が上がりづらかった。	68	100～299
1	7～8	入社時、会社東の従業員入口で鍵を開けようとしていたところ、凍結した足元に足を滑らせた。地面に対して左向きに仰向けの体勢で転倒し、地面に左手首をつき骨折した。	61	1～9
1	17～18	退社時、会社駐車場で自分の車へ歩いている時に、外気温が上昇して溶けた雪が凍り、滑りやすい状態だったため転倒し、倒れた際に右手で体を支え、右手首を骨折した。	52	50～99
1	17～18	就労後、工場駐車場に止めてある自家用車に乗車するため、敷地内の駐車場を歩行中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関節ヒビ、軟骨の先端欠損）。	27	500～999
1	7～8	朝出勤し、会社の駐車場から自分の作業場である第2工場に向かうため会社構内を歩いていた際、食堂脇を通ったとき氷で滑って尻もちをついてしまい、右側大腿部を骨折してしまった。	68	100～299
1	18～19	カップ包装リフト付近で、ポーターリフト（台車）を持ってリフトに移動中、他の作業者がリフトを上げていることに気が付き、移動中のポーターリフト（台車）を手から放してしまった為、ポーターリフト（台車）が足に接触して倒れた時に、右手を床に突いてケガをする。	62	300～499
	12～	包装室で包装機付近通路にて、切り換え作業時に排出された廃棄フィルム掛けを		50～

1	13	しているときに、長く伸びた廃棄フィルムを引きずって歩いていたため、フィルムを踏んでしまい滑って転び、左大腿頸部を骨折した。	57	99
1	12～ 13	現場事務所から加熱の作業場に向かう途中で転倒し、頭部を打撲した。	59	—
1	12～ 13	6Bロボットケーサーの切り替え操作直後、ダンボール製函機でアラームが鳴ったため、床が濡れているところを走り出したところ、転倒し負傷した。	20	100 ～ 299
1	12～ 13	保管庫前の通路にて、洗浄作業の交代のため、急いで作業場に向かう際、濡れた床に足をもたれてしまい転倒した。	59	300 ～ 499
1	22～ 23	機械洗浄を終えて、洗い場より台車にのせた部品を運搬中、床が濡れていた為足を滑らせて転倒し、後頭部と腰を打った。	63	500 ～ 999
1	8～9	自宅から車で通勤し、職場の駐車場に到着して、降車した際に路面が凍結しており、転倒して左手三角骨を骨折した。	58	—
1	9～ 10	3tトラックの荷台でシートをかける作業をしている時に足元が滑り、荷台から転倒し、左肩を強打してしまった。	63	10～ 29
1	16～ 17	会社工場内で水を撒いて、床掃除機で吸水していた。吸水しきれていなかった所を歩き、滑って転んだものである。	47	30～ 49
1	10～ 11	食材を取りに、食材準備室側からチルド半製品保管庫のに入った所で足を滑らせて転倒し、受け身を取ろうとして、床面についた左手の手首を骨折した。	62	300 ～ 499
1	13～ 14	本社工場内、チルドBラインにてトッピング作業をしていたところ、はかりが落下したので拾おうとした際に足を滑らせ転倒し、右足を捻った。	61	300 ～ 499
1	18～ 19	第一工場内惣付室フロアにおいて、寿司新ベルトコンベアーで商品の流す作業を終えて歩いていた時に、声をかけられ振り向きざまに、左足を水で濡れた床に	55	100 ～

		滑らせ転倒し、頭部右側を打ち、右手首をひねった。		299
1	11～ 12	すぐ前の駐車場に置いてある車の中に置いてある、水筒を取りに行き、帰る途中の通路にあるパレットに足を引っ掛け転倒し、左ひざより着地した際、下のコンクリートで強く打ち、皿が割れた。通路にパレットを置いてあったのが原因であり、今後は通路にはパレットを置かないようする。	62	10～ 29
1	7～8	敷地内駐車場で、路面凍結のため足をすべらせ、体勢を立て直したが、すべり前のめりに倒れ、右手を地面につき負傷した。	18	100 ～ 299
1	21～ 22	包装室で、複数ある包装機の管理作業中に、1つの機械を見ながら、別の機械の方へ移動中、足元に置いてあるバケツに気づくのが遅れ、さっと避けて足をついたが、バランスを崩し転倒、右足を負傷した。なお、バケツは定位置に置かれていた。	45	100 ～ 299
1	7～8	敷地内で、雪で滑って転んだ。	72	1～9
1	10～ 11	洗い場にて、残飯廃棄用のカゴを持ってこようとして台車に乗せて運んでいたところ、床の油で足を滑らせ転倒しそうになり、膝をついたその衝撃により股関節及び腰に痛み・炎症が発生した。	58	50～ 99
1	13～ 14	会社に出勤して、更衣室で作業着（ズボン）に着替えていたところ足を滑らせ、体の左側を下にした形で転倒した。左足がしびれ、動こうとすると激しい痛みがあり、床に座ったまま立ち上がれなくなり、後日に大腿骨骨折と診断された。	46	300 ～ 499
1	2～3	調理室でフライヤー2号機に食材を流す作業をしている時、フライヤー1号機と2号機の間を移動する際、台車を跨ごうとしてバランスを崩し前方へ転倒した。定期清掃を行っているがフライヤー周囲の床は、フライ油が付着する事があり、被災者の作業靴もかかと部分がやや摩耗していた。	65	300 ～ 499
1	7～8	当社作業場内において、製造開始準備で消毒用アルコールを取りに行くため小走りに急いでいたところ、右足が滑り転倒し、左手を地面につき負傷した。	63	30～ 49
1	15～ 16	当社工場で冷凍製品包装作業中に、冷凍庫の中で冷凍剤未包装の製品を取り出す際、足を滑らせ胸を打ち、肋骨を骨折した。	47	1～9

1	13~ 14	仕分け作業員が、おむすびラインと連続巻き機の間を歩いて休憩に行く際に、寿司ライン付近の床が濡れていたため転倒した。寿司ライン清掃中で床が濡れていたことを知らず、足を滑らせ転倒した。	62	~ 299
1	8~9	工場の通路にある棚のところで、調理場の漂白剤を補充するため漂白剤のビン（ペットボトル）の入れ替えの際、ビンを棚に戻そうとしたときにバランスを崩して転倒し、股関節部分に痛みが発生した。その後、骨にひびが入っていることが分かった。	75	30~ 49
2	9~10	学校給食センター加熱処理室で、清掃作業中床を消毒する塩素水を取りに行こうとした時、床が濡れていたため滑り転倒した。その際右足を捻り右足関節部を骨折した。給食センターの床はドライ方式で通常床面は乾いている。洗浄作業中については、床面が濡れる場合もあるため、足元に注意し作業していたが転倒してしまった。	51	10~ 29
2	14~15	加工場サンドイッチラインでサンドイッチの製品にラベル貼り作業をしており、その作業が終了したので次の作業のサンドイッチのカット作業をする為に早歩きで移動した。サンドイッチカット作業位置付近がその直前に濡れており、拭き上げた直後だった為左足を滑らせ転倒した。	35	300 ~ 499
2	10~11	当調理場女子トイレ内でトイレ用サンダルから通常使用のスリッパに履き替える際、一段高くなった床の上で滑り、右手・右肩の順で前方へ転倒した。右膝関節が外れたとの自覚があり、そのまま這ってトイレから出て助けを呼んだ。	43	30~ 49
2	10~11	食材の配送作業中に配達先の施設の敷地内にて荷物の積み込み作業中、入口の段差のある所に足をとられ転倒してしまった。その際に左足首をひねり負傷した。	32	100 ~ 299
2	16~17	加熱室にて、モツのタレを作り、ビニールにパッキングした後、後方にあるカゴに入れようと歩いた際、床が濡れていたため滑って転倒し、床に手をつき左手首を骨折の負傷をした。	54	50~ 99
2	7~8	焼成Aラインの調合作業時、調合タンクからストックタンクへ送液する為のスイッチを押す為タンクの奥に移動した際バランスを崩し転倒してしまった。	61	50~ 99

2	21~22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際に咄嗟に手をついてしまった事により強打し打撲となってしまった。	50	300 ~ 499
2	16~17	原料処理肉処理室の作業台に取り付けてある脚が一カ所折れており、作業中に折れている脚と床の間に右足が挟まり転倒した。その際手に計量器を持っており、即座に身体を支えることが出来ずに左足の膝を床に強打して骨折した。	67	500 ~ 999
2	8~9	朝礼終了後に現場へ移動中にヘッサー室裏の通路を歩行していた。工事によって一時的に置いていた空台車の色と通路の色が緑と同化している上に荷受け場の工事資材を見ながら歩いていたため、気付かず躓いて転倒し、手をついた拍子に負傷した。	32	—
2	23~24	盛付室内で計量し終わったチャーハンを台車に積んで運んでいる時、床が濡れていることに気付かず、滑って転倒した。その際、腰を強く打った。	32	300 ~ 499
2	8~9	工場内で作業中、食品を入れる容器の蓋がかなり古くなっているのに気付き、廃棄しようと、隣接する物置き場に持って行ったところ、そこに重ねて置いてあった台車（カート）の脚か手すりにエプロンの裾が引っ掛かり、躓いて前のめりに転倒した際、右手で床を着いて倒れ、右手首を骨折する怪我を負ってしまった。	54	30~ 49
2	10~11	PF餃子ラインの餃子成形機に部品を取り付け、止め具を内側に締め上げた際、両手にビニール手袋を装着していたが手元が滑り、後方に尻もちを付く形で転倒した。当日は痛みがなかったが、翌日午前中に痛みが出て来て、病院を受診したところ、腰の骨が折れていた。	59	50~ 99
2	14~15	加工場にて箱取作業（コンベアベルトで流れ作業で盛付後ラップ機を通り完了となった物にラベルやシールを貼って製品番重に取っていく）中、台車に製品を入れた番重を1段入れた状態のものに躓き、転倒し右膝を強打した。本人の癖で作業台と自分の間に製品番重を置くので慌てると同線上のものに躓きやすい状態にある。	60	300 ~ 499
2	10~11	カット工場内で、野菜の入ったカゴを持ち移動中、床面に野菜の残渣が落ちていたため滑って転倒した際胸を打ち負傷した。	42	50~ 99

2	10~11	会社の料理などの出荷口の階段で料理などの荷出中に足を滑らせ転倒した。その際、左方、左腰を打撲した。	38	100 ~ 299
2	18~19	結婚式場において披露宴終了後、後片付け中転倒し、とっさに右手をついた為全体重が右手にかかり小指の下を骨折してしまった。	70	—
2	14~15	会社所有の茶畑で、茶葉の選定のため茶摘み機を運転していた。茶畑の東南の端にバックで機械を移動させた際、畑の右後方部が急勾配になっていた箇所に機械の右後部キャタピラーを落としてしまい、機械が後ろ向きに転倒し、約1m下の斜面に機械ごと落下した。機械と地面の間に胸部を挟まれ、圧迫されたものと推測する。事故発生時には一人で作用していたため、正確な状況は不明であり、搬送先の病院で死亡が確認された。	53	—
2	14~15	日勤調理社員が、調理用ニーダーの前に食材の入ったバットを台車ごと移動した。次の食材を取りに移動しようと身体の向きを変えた時、左足がその台車にかかり、前のめりとなった。この時、右手を強く床につけてしまい、肘を痛めた。その後、痛みが引かなかったので通院したところ右肘関節脱臼と診断された。	26	500 ~ 999
2	5~6	トッピング室で掃除をしている際、水を撒いて汚れを落とそうとしていたら滑ってしまい、床に手をついて骨折した。	57	500 ~ 999
2	18~19	工場内加熱調理室オープン前のテーブルにて、カルビ肉を鉄板に並べ、並べ終わった肉を加熱蒸気オープンに入れる作業を数人でしていたところ、他作業者の動きに気をとられ足を滑らせて転倒し、テーブルの角で顔面を強打した。	61	300 ~ 499
2	10~11	次の製造アイテムの具材等準備時、アルコールが入った容器を取りに行き元の場所に戻ろうとしたが、ダスターを持って行かなければいけない事に気づき、ダスターを手に取り、振り返った際に、折り畳作業台の脚に引っ掛かりそのまま膝から転倒した。	70	300 ~ 499
2	21~22	切物室よりウィンナーの入ったバットを持ってトッピング室へ向かう際に切物室出入口にあった空バットに気が付かず躓き前のめりに転倒した。その際に左手首	61	300 ~

		を打ちつける。		499
2	5~6	製造終了後、2F加工室のリネン室にタオルを取りに入った際、リネン室を出る時に足を滑らせ転倒し、右手を床に着いた。その時に右手首を骨折した。	56	300 ~ 499
2	8~9	乾燥室にて内干しの最中、湿度が高くなり床面が湿気を帯び足を取られ滑り転倒し、左手首と左肩を強打する。	67	1~9
2	5~6	バット洗浄室で、バットの洗浄中、濡れている床で足を滑らせ転倒した。体の左側、腰から肩、顔にかけてを床面で打ち打撲・捻挫を負った。	41	100 ~ 299
2	9~10	2階加熱室の冷蔵庫に使用した原料（たけのこ）500gを置くの保管棚に置きに戻ったところ、床がエマテックの溶液（ほぐれ剤）で濡れており（油膜が出来て滑る状態であった）滑って左膝を強打した。	65	300 ~ 499
2	16~17	床に座ってブラシと雑巾と剥離剤を用いてワックスを除去していたところ、立ち上がろうとして足を滑らせ床面に転倒し、脱臼した。	68	100 ~ 299
2	22~23	工場内食器洗浄器室において、食器洗浄の作業中、周りに物（回収した食器のコンテナやゴミ入れ）を多く置き過ぎていた為に、食器の入ったコンテナに引っ掛かり、ゴミ入れに躓いて転倒した弾みで右手を床についたことにより負傷したものである。	69	30~ 49
2	18~19	おにぎりの具製造ライン包装工程で2名がオペレーター業務に従事していた。箱詰製品の結束機の手詰まりが発生したため、オペレーターAは製品の横取り作業を行い、一方のオペレーターBは結束機の手詰まりの対応に当たった。Bが詰まりを処置し復旧後、Aが箱入れ作業の補助に当たるべく移動しようとしたところ、床上にあった結束機詰まり処置後の不要の手詰まりに足を取られ、勢いよく転倒し右膝を床に強く打ちつけた。	57	300 ~ 499
		給食センターの正面玄関を出て、東側を回って検収室へ向かう途中の植木のそばで、洗浄するザルを急いで取りに行こうと走っていた際に、慣れない給食セン		10~

2	14~15	ターのスリッパを履いていたため、躓いた拍子に足がスリッパに引っ掛かり、顔面から倒れそうになったので、右手をついたが、その後、顎を地面に打ちつけた。	57 29
2	17~18	勤務時間が終了し、帰る為にピックアップ室を通った際、番重がのった台車に気付いていたが、急いでいた為、うっかり番重に足を入れてしまい、前方に転倒した。その時、右手はエプロンを持っており、左手で体を支えた為、左手手首を骨折した。	67 100 ~ 299
3	17~18	被災者は、廊下を通行していたところ、開いたスイングドアに気づき避けたが、避けたところの床タイルがはがれていたため、はがれたタイルに躓き転倒して左太もも付近を打った。	63 100 ~ 299
3	5~6	出勤時に自家用車を駐車場に止め、物流プラットフォーム前を歩行中、積雪により段差のところで滑って転倒し、左肩を強打した。	70 100 ~ 299
3	10~11	被災者は当社工場内ローラー掛け通路において、当時清掃中で床が濡れていたため、清掃作業員が口頭で注意を促していたが足を滑らせ、左手をつき、左手首を負傷した。	67 100 ~ 299
3	6~7	野菜下処理室にて、排水弁の蓋を閉めようとした際に足で閉めようとして滑って転倒した。	62 500 ~ 999
3	10~11	新棟中央階段でトイレに行くために階段を3階から2階へ歩いて降りようとしたとき、左足を踏み外して踵を下の段の角にぶつけた。	27 100 ~ 299
3	16~17	清掃道具等置いてある場所で後片付けをして、ダンボール・ゴミ袋等を処理しているときに段差のある場所ですまずき、足を捻って転んだ。	67 10~ 29
3	15~16	下処理室よりゴミを持って出たところで、床が濡れていたため滑り転倒し、右手を強打して手首を負傷した。	64 50~ 99
		工場内組立ライン積込場所にて、台車に乗った荷物（食材）をロールボックス	500

3	11~12	(カゴ台車)に積み込んでいた際、置いたままの空の台車に気づかず、次の荷物を両手に持ち作業を続けていたところ、空台車に足が引っ掛かり滑って転倒し、膝を床に強打し、左膝を骨折した。	52	~ 999
3	19~20	洗った食器を乾燥機の中に入れ、先に入っていた調理器具を片付けようと両手に持ち、2~3歩進んだときに滑って転倒し、胸を強打し、首を捻って痛めた。	68	30~ 49
3	15~16	ダンボールを手を持って、人とすれ違う時に少し右に寄ったとき、荷物の置いてあるパレットの端につまずき、転んで膝を打った。	70	500 ~ 999
3	12~13	夕食時に使用するトロミ剤を取りに行こうと厨房内を移動していた際、台車と配膳車の間を通り抜けようとしたところ、誤って台車に足を引っ掛けてしまい転倒し、右側に倒れたため右半身を床に強打した。	67	1~9
3	11~12	弊社植物工場内栽培室にて、中継作業(収穫したレタスを受け取り、不要な葉を取り除く作業チームへの手渡し作業)中に足を滑らせ、左側の顔と左側頭部を床面に打ち付けた。床面が濡れていたことが原因である。	48	50~ 99
3	7~8	工場1階加熱調理場で荷出作業を開始する際、洗浄室に番重をとりに行こうとして通路を歩いていた際、釜作業者が急に後ろ向きのまま下がってきた為ぶつかりそうになりよろけたところ、バランスを崩して転倒し、手をついた際に右手中指が不自然な状態になり、じん帯を損傷した。	45	300 ~ 499
3	13~14	工場内特調室で午後作業に入るとき、床が水で濡れていたところで足を滑らせ、作業台に足をとられて足をひねった。	49	50~ 99
3	11~12	種子の保管庫において、かいわれ大根の種子のふるい選別をする作業中に、25kgの種子袋を持ち上げようとして手がすべり、後ろ向きに転倒して腰を強打した。	63	100 ~ 299
3	11~12	サラダ用容器の準備作業中、容器を積み上げたコンテナを両手で持って移動していた時に、足元にあったコンテナ用台車が見えず、つまずき転倒した。左ひざ等を床に強打したが、大丈夫だと思いそのまま作業を続けたところ、痛みがひかずに、後日に左ひざ等の打撲と診断された。	56	100 ~ 299

3	10~11	工場内の洗い場で、調理器具を運んでいたところ、足元が滑って転倒した。	74	100 ~ 299
3	16~17	当社出先の内厨房の洗浄コーナーにて、職員食堂の箸と湯飲みの補充をするため移動している時、シンクからこぼれた洗剤を含んだ水で足を滑らせて転倒し、左手をつき左手首を骨折した。	69	10~ 29
3	13~14	第一工場と第二工場間の敷地内で、一人で荷下ろしをしていたとき、製品を積んだカゴ車（約300kg）をトラックの荷台から降ろす際に、トラックの昇降部に付属しているストッパーをかけ忘れ、カゴ車が倒れてきたものを支えようとしたが、支えきれず転倒した。	32	100 ~ 299
3	16~17	調理作業場において湯葉の包装作業が終わり、湯葉の入った桶（直径40cm×高さ20cm）を両手で持ち、別の作業場へ移動するためにスロープ（高さ15cm、幅70cm）を下りていたところ、スロープの脇から右足を踏み外し、横座りになる格好で床に倒れ、右足を捻り負傷した。	46	30~ 49
3	8~9	事業所の階段を上るとき、床が濡れていたため足をすべらせ転倒し、階段の手すりで頭部を打った。	23	100 ~ 299
3	5~6	仕事が終わって送迎バスに乗ろうとし、一番最後に階段が有ると思ったがなかったため、足を踏み外し転倒してしまった。	53	500 ~ 999
3	16~17	おにぎり製造ラインにて、機械停止中に製品（おにぎり）を両手に持ち移動した際、具材の入ったラックの間を強引にすり抜けようとした為、左足を土台に引っ掛け、横向きに転倒してしまい右肩脱臼をした。	68	100 ~ 299
3	8~9	レトルト第1工場前処理室で、6号釜での液炊きが終了し、具材混ぜ作業途中で具材を入れたタル（約40kg程度）を30cm離れた後方のパレットの上に移動させる際、後方に置いてあるパレットに踵が引っ掛かり、背中から後方に倒れ込み、地面に腰を打ちつける。	50	100 ~ 299

3	11~12	工場内にて、ごみ捨てるために生ゴミ処理室に向かう途中の前室廊下で台車を跨ごうとしたら、バランスを崩し、前のめりに転倒した。その際、積み重なった番重（高さ61cm程）にみぞおちを打ち付け動けなくなった。	48	~ 999
3	12~13	切込室で作業中、部屋に走って入ってきた人に気づかず、振り向いた際に足が引っ掛かり転倒し、手首を床に打ちつけて負傷した。	63	~ 299
3	9~10	工場内に指示書を渡して帰る途中、濡れていた床に右足を滑らせ、右ひざから地面にぶつかり、救急搬送される。	40	50~ 99
4	4~5	水産PC製品化作業場で、生食盛り付けをする仕事をしている時、粘着ローラー掛けが終了後、振り向いて動いた際に足が接触して転倒し、作業員とぶつかってしまった。	61	~ 299
4	20~ 21	調理麺課カット室において、カットしたゆで卵を番重（アルミ製容器）に入れ、2段重ねで冷蔵庫に移動する際、上の番重が滑り落ちそうになったので、それを立て直そうとして転倒し負傷した。	67	~ 299
4	21~ 22	F3ライン盛付室内のトレー洗浄機付近において使用の調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に、移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着いた。転倒した場所は滑りやすい状況であった。	68	~ 299
4	16~ 17	工場内（箱詰ライン作業所）にて掃除終了後、明日の作業の準備中に、箱詰ラインのローラー（高さ20cm巾30cm）をうしろ向きでまたいだところ、ローラーの近くにあった台車（高さ20cm）に足が乗ってしまい、台車が動いてバランスをくずし転倒し、床についた左手首を骨折した。	61	10~ 29
4	15~ 16	本社工場内にて、急速冷凍庫に保管されている製品を取りに行った際に滑って転倒し、左肩を打撲した。	50	50~ 99
4	16~ 17	作業場で床の掃除をしている時に野菜のくずを踏んで滑って転倒し、右手をついて骨折した。	36	50~ 99
4	11~ 12	センター内調理場にて調理後の片付け作業中に、床から出ているコンセント支柱（20cm）につまずき転倒し、右肘裂傷・頭部打撲傷を負い、右肘2針縫合の処置	53	50~ 99

		をした。		
4	8~9	スティックシュガーを製造する作業場にて、次の作業に取りかかろうと包装機裏側へ回るため歩いていた際、床につまずき左肘および左膝を床につき打撲した。	49	50~ 99
4	16~ 17	畜産課加工場内で、後片付け中秤を両手で持って歩行中に、濡れている床で滑って転倒した。機械（A to Z）の不具合により、肉の脂が混ざった水で床が漏れていた。	54	500 ~ 999
4	8~9	作業場にて成型肉の番重取りを行っている際、番重を台車に置く時に台車に足を引っ掛け、転んで打撲した。	54	300 ~ 499
4	5~6	本社工場厨房において、連続式フライヤーを掃除する際に油槽に溜まっている油を一時的に移しておくタンク（縦1m横1m高さ50cm底に車輪が着いた物）を本来ならば手で動かさなければいけないのに足で動かそうとしたところ転倒して負傷した。	69	300 ~ 499
4	7~8	会社出勤時、ドアストッパーを片足で立てようとした時、工場入口でバランスを崩して転倒し、右大腿骨を骨折した。	62	10~ 29
4	1~2	延長コンベヤを掃除する為に部品を取り外して他の台に運ぼうとした際に足がつって床面のコードに足が引っ掛かった。部品を両手で持ったまま転倒したため、左頭部、左ひじ、左ひざを強打し、一瞬気を失った。	50	500 ~ 999
4	17~ 18	工場に出張中に包装室内Dライン脱水機の調査中、3段ステップにて脱水機内部を確認していたときに、ステップから降りたが他に気に掛かる部分があり、振り返り、脱水機を見上げながら移動しようとした際に業務用計量機掻き上げの移動用レールにつまずき転倒した。	63	100 ~ 299
4	12~ 13	米飯フロア寿司ラインにおいて、サラダ巻の盛付用具材（ツナ）を取りに行こうと巻き寿司成型機の前を通ったところ、足を滑らせて転倒し、肘と腰を打った。転倒時、床はアルコールの水滴で濡れており、かつ本人の作業靴の底は飯粒等の残渣が多量に詰まった状態で、靴底の滑り止めについてもかかと部分が摩耗しており、滑りやすくなっていた。	62	300 ~ 499

4	1~2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	100 ~ 299
4	11~ 12	茶畑の被ふく作業中、動物が掘ったと思われる穴に足が入り負傷した。	63	1~9
5	19~ 20	トッピング室内のゴミ箱に足を引っ掛けて転倒した際に、右肩をぶつけて腱が切れた。	58	300 ~ 499
5	14~ 15	洗浄室で用具の洗浄作業中、洗浄済みの用具をカートの上部分に乗せようとした時に床面が濡れていたため、足を滑らせ後方に転倒した。	44	30~ 49
5	12~ 13	工場準備室において排水溝の清掃の為、グレーチングを外していた所を通りかかり、深さ30cm程度の溝に落ちて右足首を捻挫した。	51	300 ~ 499
5	17~ 18	工場仕上室内の冷凍庫を清掃する際、電源は切ったものの内部は冷えたままで、清掃した水が床上に薄く凍結した。その凍結箇所ですって足を滑らせ転倒し、左肘を床に強打し、左肘を骨折した。	57	100 ~ 299
5	7~8	足元の後ろにパレットがあり、リーダーの方を向いたまま後退りした時に躓き転倒した。	65	10~ 29
5	0~1	センター盛り込み室にて、盛り付け作業中、床掃除後だがぬめりが残っていた部分で滑り、骨盤を床に打ちつけ骨折したものである。	72	100 ~ 299
5	8~9	包材庫前失に入室したところ床が結露しており滑って転倒した。右手を床につく際、手に物を持っていたので手のひらをつけず、手の甲から転倒し床に強打した。	59	300 ~ 499
5	14~ 15	製造作業が終了した治具（ザル、ボール、エプロン等）一式を洗浄のため洗浄室への移送中、腰を屈めた姿勢で移送していたためバランスを崩し転倒した。	67	10~ 29
	17~	畜産2階加工場の冷凍庫の床を清掃中、お湯をまいて清掃していたため、しばらく		100

5	18	く経つと床が凍ってしまい、歩いたときに滑って転倒し、左手を床に強打して左手首を骨折した。	55	～ 299
5	16～ 17	作業場内にて食材を数種類混ぜ合わせる配合という作業をしていた時、食材を開封しようと移動した際に足を滑らせ、柱に手をついたとき右手中指を骨折した。	47	100 ～ 299
5	8～9	炊飯室横の通路においてある洗浄剤ト口箱を取りに入った際、足を滑らせ横転し、床に頭部をぶつけた。	56	100 ～ 299
5	16～ 17	工場内にて卵のハネ品を集めたりする作業中、重心が前にかかり、バランスを失って右肩から前のめりに転んで右上腕を打った。	59	300 ～ 499
5	18～ 19	事業所において、被災労働者が業務を終え、着替えをするため休憩室に行こうとしたところ、厨房出入口の沓摺りが濡れており、誤って足を滑らせ転倒した。転倒した際、とっさに右手で身体を庇い、右手首を床に強打し骨折し、手首が腫れてきた。	60	1～9
5	12～ 13	Bパネル洗浄室入口付近にて、収穫時のトリミング作業への収穫パネル中継作業の際に、剥がれた滑り止めシートの接着剤が水に濡れ、ゼリー状になっていたことから、ゼリー状の接着剤に足を滑らせ尻から床面へ落ち、左肘・腰を床面に打ちつけ、転倒した際にトリミング作業中の収穫製品番重作業台へ左足をぶつけた。	28	50～ 99
5	10～ 11	包装フロアを移動中、床にあった突起に躓き転倒した。その際、うつ伏せに倒れ、胸部を床に強打した。	61	100 ～ 299
5	13～ 14	現場の階段を下りた際に左足を踏み外して転倒し、骨に2ヶ所ひびが入った。	68	300 ～ 499
	9～	下処理室から調理場に入る時、調理場入り口横の業務用扇風機の脚にぶつかり左		30～

5	10	足もも横を強打し、前に手をつけて倒れた。その後も仕事を続けたが、強打した部分がソフトボール大に腫れて痛みが増し、歩行困難な状態となった。	53	49
5	9～ 10	第2工場キット加工室作業場鶏肉攪拌機前の床で壁面清掃作業中に床で滑り横向きに転倒し、右くるぶしを骨折した。	62	100～ 299
5	17～ 18	当社工場内通路階段にて、生ゴミを捨て、作業場に戻る際の階段で足を踏み外し、左手をつけて怪我をした。	65	100～ 299
5	9～ 10	厨房内の盛付台の付近を歩いている時に、盛付台の下のキャスターに右足を引っ掛けて転倒した。その時に右膝を打った為、右足膝の半月板を痛めた。	65	50～ 99
5	8～9	納品整理が終わり、移動しようとした時にスノコに足が引っ掛かったので、横に置いておいたダンボール箱に思わず手を置いて身体を支えようとしたところ、箱が崩れて左に転倒し、左肩を骨折した。	68	10～ 29
5	20～ 21	工場内にてトレーを入れる折コンテナを清掃後に、折コンテナをコンテナ搬送台に折りたたんで二段重ねにし、折コンテナに手を添えて搬送している際、コンテナ搬送台が横にあるトレー洗浄水槽に当たり衝撃で手が滑り、左手を床についた際に左手首をひねり骨折した。	63	100～ 299
5	11～ 12	会社にて、お昼休憩に行く際に階段を下りる時に足を滑らせてしまい、階段を踏み外してしまった。左手をつけてかばったが、お尻もついてしまい、左手中指と薬指を打撲し、尾てい骨を骨折した。	39	30～ 49
5	13～ 14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	10～ 29
5	12～ 13	お昼休憩後、作業場に戻る際、休憩室出入口ドアの足元の段差に気付かず、躓き転倒した。	56	10～ 29
5	8～9	当該工場東側バラエティライン取出し口付近で、18段積んである1番上の空ケースを左手に2ケース、右手に1ケースを持って方向転換して作業場に戻ろうとした時に、右足が滑って両手にケースを持っていたため、手をつけず左肩を床に打ち	57	100～ 299

		脱臼骨折した。		
5	15～ 16	製造室にて洗浄作業中に、テーブル下20cmに仮置きしていた長さ141cmのブラシがテーブルより20～40cm程はみ出しており、躓いて転倒して左膝を強打した。	58	30～ 49
5	2～3	体調不良で早退すると報告を受け、本人が現場を後にし帰宅前に女子トイレへ行ったところ、目眩がしてそのまま意識を失い、転倒した時に左太股を強打して骨折した。	68	500 ～ 999
6	9～ 10	個人宅足場解体工事現場において、足場解体作業中、2段目足場にて作業していた者が、クランプを取り外す最中、先に外し足元に置いていた単管（1m）に足を接触させ単管を落下させてしまった。その時、その下で作業していた従業員の肩に一度当たり、その後に右足甲の上に落下し負傷したものである。	45	10～ 29
6	8～9	自宅を出て会社駐車場（第二駐車場）到着し、車から降りて100メートルほど歩いたところで躓き転倒した。その時に左足首をひねり転倒したままで、同じ職場の事務員に支えてもらいながら会社更衣室まで歩いた。しかし左足首が痛む為、病院に行きレントゲンによって骨折が判明した。	58	100 ～ 299
6	8～9	社内休憩室にて清掃作業中、使用している掃除機の電源コードをずらそうと移動していた。その際、コードに足が引っ掛かってしまい前方に転倒し、床に両膝を打ちつけてしまい、左膝が腫れ上がってしまった。	63	300 ～ 499
6	10～ 11	工場内にて、ロールボックスから出したバットを床で滑らせ、洗浄機前まで押して移動させていたところ、グレーチングにバットが引っかかり、前につんのめり転倒し、左膝付近を打撲した。	35	100 ～ 299
6	15～ 16	工場内を清掃中、排水溝付近をホースを持って移動していた際、排水溝の蓋が外れていることが周知されていなかったため気付かず、排水溝に足が入り転倒し、怪我をした。	64	50～ 99
6	17～ 18	勤務終了時に、会社玄関の階段を踏み外してしまい負傷した。	40	100 ～ 299
		当社工場内2階食堂で、昼頃、椅子の足に躓き、両膝を床に強くついてしまう。		

6	12～ 13	左膝に湿布をして仕事に戻ったが、工場1階製造場で原料の入ったパットを持って移動していた夕方頃にまた転んでしまい、左肩を床に打ってしまったものである。	66	30～ 49
6	13～ 14	食品会社に勤務（検品・箱詰め）する被災者は、災害当日、通常通り、検品・箱詰め作業を行っていた。箱を取ろうと後を向いた時に、箱の下に敷いてあるパレットに躓いてしまい、左手を地面について、倒れてしまった。その結果、左手首骨折という怪我を負ってしまった。	62	50～ 99
6	15～ 16	製麺工程における、麺を茹でる機械のオペレーションを担当していた。生産終了後、機械からお湯を排出している時に、機械の横に設置してある排水溝の蓋で足を滑らせて転倒した。その際、床に左手・右足・腰をついてしまい、火傷と打撲を負った。	20	100 ～ 299
6	0～1	米倉庫から出て、おにぎりピッキング室とおにぎり仕分け室の間を通行中に転倒した。その時、右足の靴が脱げ小指側から床面についた。	51	300 ～ 499
6	11～ 12	工場内で、商品の箱詰め作業前のラベルチェックをしている際、社員に管理表との照合作業をしてもらおうと呼びに行く時、作業場内に置いてある商品が積まれたパレットに躓き、転倒を防ごうと出した右手で商品の入っている箱を突いてしまった。	54	50～ 99
6	17～ 18	厨房のエレベータ前で配膳台の2台目をエレベータに入れようとしたところ、扉が閉まりかけた。急いで開けようとしたが、扉に押され、左側に体ごと倒れた。その際に左足の側面をコンクリートの床に強打し、左足小指下の骨折と左足左側面の打撲をした。	57	10～ 29
6	7～8	送迎バスが工場に到着し、玄関前でバスから降りようとしてステップを降りている時に、急いでおり、不注意で足を滑らせ転倒し、左足首を捻挫した。	49	500 ～ 999
6	10～ 11	下処理の終わった肉を運ぶ際、通路がコンテナで塞がれていた為、通路の端を通過しようとした際、足を滑らせて台車のバランスを崩し、人・車共に転倒し、台車の下敷きになってしまった。	29	100 ～ 299

6	11～ 12	当店調理場にて、空のバケツを持って移動中に、床が濡れていたのに気づかず歩いてしまい、滑ってバランスを崩して左肩より転倒し、左肩を負傷したものである。	66	10～ 29
6	5～6	休憩終了後、入場口にて、手洗いをしハンドドライヤーで手を乾かしていた際に、突然ハンドドライヤーに手をつき寄りかかる。その後、仰向けに倒れて後頭部を床にぶつける。意識はあったが、救急車にて病院へ搬送される。診察の結果、脳内に出血が見られる為、脳神経外科へ移送される。	62	500 ～ 999
6	8～9	出勤時、敷地内駐車場に車を止め建物内に入る際、傾斜部分の砂利に足を滑らせ尻もちをつき、その際に右足が尻の下に入り、右足首を骨折した。	66	1～9
6	9～ 10	冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に、持って来ていた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。	28	300 ～ 499
6	15～ 16	かごを持って移動中、線に足を引っ掛けて転倒した際、持っていたかごが顔に当たり、鼻と前歯を損傷した。	76	10～ 29
6	19～ 20	翌日の準備の為、冷凍庫より商品を出していたところ、入口付近で靴に霜が付着していたようで滑って転倒した。その際、背中を強打し、ムチ打ちを負い、ついた左手も痛くて握れなくなった。	51	100 ～ 299
6	13～ 14	本社工場1階出荷場で、両手に大きなゴミ袋を持ち、足元が見えにくい状態でゴミ捨て場に向かっていた途中、パレットが1枚置いてあるのに気付かなかったため、パレットの角に足が引っ掛かり転倒し、左膝を強打し負傷した。	56	100 ～ 299
6	10～ 11	新製品の発売を控えているため、毎日の生産アイテム数が通常時の1.5倍になっていた。アイテム切り替えの際には水洗い洗浄を行うため、普段より床が濡れる頻度が高くなっていて、同時に切り替え作業を急いだため慌ててしまい、濡れた床で転倒してしまった。	51	30～ 49
6	11～ 12	場所移動中に呼び止められ、振り返った際に足を滑らせて転倒し、右肩を床に打った。	66	30～ 49

6	11～ 12	工場包装室で惣菜のパック包装作業中、空になった容器を片付けようと運んでいる時に、足元にあったカートに躓いて転倒し、胸部を地面に打ちつけて肋軟骨骨折をした。	64	100～ 299
6	6～7	業務中、テーブルを移動させた時にテーブルの脚に足が掛かり、転倒して大腿骨を強打してしまった。	67	30～ 49
6	21～ 22	調整室で作業していて、ガゼットを取りに行った時に、両側で作業していた間を通り抜けたところ、簡易型テーブルキャリーの脚に右足が引っ掛かって転倒し、左肘を強打した。	51	300～ 499
6	22～ 23	製造二課米飯室で、材料を取りに行く移動中に、海苔保管庫前の床が濡れていた為、滑って転倒した際、尾てい骨を負傷した。	59	300～ 499
6	9～ 10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	300～ 499
6	7～8	退社時に工場から駐車場へ向かう際、階段を踏み外し、前のめりに転倒した。その際に左手を階段に打ちつけ、左手甲部分の腫れと痛みがあり、左手首を骨折した。	55	100～ 299
6	11～ 12	段差を降りようとした際、配管に右足が引っ掛かり、そのまま転倒した。その際に足首を捻った。	49	300～ 499
6	22～ 23	工場内炊飯室で炊飯作業終了後、機械等を水洗いしていた時、右足でホースを踏みつけた拍子に足が滑り横転したため、床に右手を着いた際に負傷したものである。	50	100～ 299
6	15～ 16	配達先にてお弁当の回収をする際、段差に気付かず足を踏み外し、左足首を亀裂骨折してしまった。	50	100～ 299
	11～	配達及び回収から戻り、洗浄コーナーに車両から弁当箱（ケース入り）を下ろそ		10～

6	12	うとしたところ、足元の弁当箱（ケース）に気付かず接触し、転倒して右膝を負傷した。	44	29
6	15~ 16	盛付Aラインにて、盛付終了後、次の商品への切替準備のため、残った具材の入った台車を押して運搬していたところ、滑って転倒し、臀部から腰にかけて強打した。全く動けない状況だった。レントゲンの結果、異常はなかった。	55	~ 499
6	16~ 17	倉庫内にて、パレットに積んだ皿うどんの具材を工場へ移動させるため、手押し台車へ運んでいた。積み上げられた具材を1個両手で抱え、振りかえって移動しようとしたところ、たまたまパレットの一部が欠けた穴に左足を落とし込み、前のめりに倒れて、左足アキレス腱を負傷した。	48	10~ 29
6	10~ 11	工場入口の門辺りを放水作業中、ホースに躓いて転倒し、コンクリート地面に左膝を打った。	48	10~ 29
7	21~22	出勤時、送迎バスを降り入口の階段を上っていた時、足を踏み外し斜め左側へ転倒した。その際身体を支えようと左手を強くついてしまった。着替えをし業務に就こうとしたが、痛みがひどかったためそのまま帰宅した。	65	~ 299
7	15~16	厨房にて老健（併設）の配膳車に盛り付けた小鉢を差しこむ作業をしていた時、配膳車下段に差しこもうと一度しゃがみ、片手にトレイを持ったまま立ち上がろうとして、バランスを崩して転倒、身体を支えられずに手首を捻挫してしまった。	53	10~ 29
7	23~24	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	59	~ 299
7	17~18	機械部品洗浄中に部品に足がつまずいて床に転倒。	45	50~ 99
7	8~9	本社2階工場入口付近で発生。工場へ入ろうとしたところ転倒右手を強く打ち右手首骨折。	61	~ 499
		負傷の3ヶ月前に自宅で左足の皿の負傷しており、左足をかばって生活をしてい		300

7	16~17	たが、調理場でテーブルを拭いていたところ、振り返った瞬間にバランスを崩し転倒し、左足太ももを骨折した。	57	~ 499
7	7~8	当社弁当調理工場内で天ぷらを揚げるためボールを持って天ぷら粉を溶いていたところ、揚場付近に油っぽい物があり滑って転倒し、その際に左肩を負傷したものである。	66	50~ 99
7	8~9	工場内資材事務所（倉庫）の出入口付近にて、滑って転倒した際にドア枠に右足のすねをぶつけ、切り傷と打撲を負った。	46	100 ~ 299
7	11~12	コロッケのパン粉をつける作業中に成型機にコロッケの具を投入するために、成型機の横に置いてあった踏み台につまずき、前向きに転倒して両膝とオデコと右手を負傷した。	70	100 ~ 299
7	18~19	休憩時間にトイレに行き、スリッパに履き替え後、ふらっとして倒れ、右脇腹を強打した。	56	300 ~ 499
7	6~7	作業場にて作業終了時の片付けをしていた際床が湿っていたため、足を滑らせ転倒してしまった。その際、右手首及び頭部を床に打ち付け負傷した。	47	300 ~ 499
7	1~2	盛付ライン先頭で作業しており、開封した容器の袋を近くのごみ袋に捨て戻ろうとした際、ライン作業していた人の足に躓き、四つん這いになる形で転び両膝を打撲した。痛みもすぐ引くと思ったが、金曜日になり立って作業するのも辛くなったため、早退。土曜日に事後報告をもらった。3週間の安静休養・療養が必要と診断された。	55	100 ~ 299
7	7~8	工場内の更衣室で作業服のズボンをはこうとして滑り、前のめりに倒れその時に左ヒザに体重がかかり負傷した。	54	300 ~ 499
7	19~20	会社工場内センター2階にてコンテナに入った豆腐を台車に積み運ぼうとした際にコンテナが崩れバランスを崩し、被災者も前方へ転倒した。	46	100 ~

				299
7	4~5	番重洗浄室成型室側入口前にて床が濡れていたため、足を滑らして転倒。その際に床面に手を衝く。	50	100 ~ 299
7	9~10	内番重洗浄室で洗浄作業をしているときに、床がタルタルしていたため、移動していたら誤って足を滑らせて転倒し、右手首を打撲した。	27	500 ~ 999
7	16~17	当社工場内、冷凍室において材料を格納する作業を行っていた。材料を冷凍室に置き、冷凍室を出ようとしたところ、棚に置かれていた材料に気を取られていたためか、誤って着氷した床面で足を滑らせて後ろ向きに転倒。咄嗟に右手をコンクリート製の床面につき、右手首を負傷したもの。	50	50~ 99
7	22~23	勤務終了後、更衣室で職服から私服に着替える時に、脱ぎようとしたスラックスからうまく足を取り出せず、バランスを崩して右手をついて、転んでしまった。その転んだ時の衝撃で右手首をひねってしまった。翌日、痛みが酷いので、検査したら骨折していた。	69	100 ~ 299
7	13~14	庫前の廊下で材料を運搬するため台車を手で押して移動している時右足先が床に引っ掛かり、前方に転倒して右足親指を骨折した。	58	100 ~ 299
7	9~10	作業室において、弁当の製造中、右足をひねり、バランスを崩して壁に倒れ掛かった際に右背中を強打した。	48	10~ 29
7	11~12	被災者は、当社事務所入口前において商品説明を終えて立ち去ろうとした時、他の従業員が水を流しながら掃除をして濡れた路面に滑り、転倒した。その際、左足首を負傷した。	72	30~ 49
7	12~13	被災者が昼休憩終了前にお手洗いから作業場の摘み取り現場へ歩いて移動していた際、作業場へ向かう途中の部屋に、桶へ水をいれるために床を這わせていたホースがあった。そのホースに足を引っ掛け、前方向へ躓き、両膝をコンクリート床にぶつけ負傷した。	67	50~ 99

7	10~11	作業場に向かう階段を下りている時に右足をひねった。	57	30~ 49
7	4~5	工場内で、早朝、置いてあったダンボールに躓き、転んで右ひざを打ち負傷した。	69	50~ 99
7	15~16	魚肉下処理室で漬け込み作業時に移動しようとした際に、足元の台車に気付かず台車に乗り、足をとられて転倒し、左手をついて負傷した。	61	500 ~ 999
7	10~ 11	事務所内にて、本人使用の事務機の引き出しから2段目を引いて、開けた後閉めてからその前を横切ったが、その際最下段の引き出しにつまづき転倒した。その際、右手の甲側から床に着いたため右手首を負傷した。	64	300 ~ 499
7	15~ 16	野菜作業場で清掃の水引作業をしている時、床が濡れていて少し斜めになっている為にバランスを崩し右足を捻りながら転倒した。その際右足脛を捻って痛めた為、病院へ行き手当を受けた。	60	100 ~ 299
7	8~9	病棟へ台車を取りに行くために、洗浄室のドアを開けようとした時、少し濡れていた床で足を滑らせてしまい、そのまま転倒し床に手をついた。	50	10~ 29
7	11~ 12	焼立2F焼成Bライン出口のエアガン用の巻き付けタオルを交換し、焼立1Fへ向かうと歩行している際に、滑って尻もちをつくような形で転倒した。	34	300 ~ 499
7	9~ 10	当社、作業場内において台車を持ち歩いて移動していたところ、つまづいて転倒し床面に左ひざ右ひじを強打し負傷した。	36	1~9
7	23~ 24	充填豆腐帯掛け包装ラインにて検品作業中、突然耳が遠くなり、意識をなくし転倒した。従業員に介抱され意識はすぐに戻ったが、転倒した際に左手首を床につき骨折したと思われる。	55	50~ 99
7	10~ 11	ライン周りで品質チェックをしていたところ、洗浄時の仕切りとして使用しているカーテンに足を引っ掛け、転倒した際に両手をついた。	58	500 ~ 999
	15~	計量室にて、水に濡れて滑りやすくなった床で、足を滑らせ転倒した。倒れる際		500

7	16	に脇腹をゴミ箱に強く打ちつけ、肋骨が2本折れた。	64	～ 999
7	16～ 17	工場内作業場にて掃除中、エンジンの皮で滑り、転倒したときに左膝を捻ってしまい、左膝の皿を脱臼した。	63	30～ 49
7	10～ 11	冷凍庫から仕込の材料が入ったダンボール（10ケース）が載った台車を出すときに、後ろ向きで引っ張っていて転んだ。	62	100 ～ 299
7	4～5	加工室から休憩室に移動のため、水産発生ゴミ室前を歩行時、若干濡れていた床でサンダルが滑り、通路の右側に置いてあったクレートに寄り掛かろうとしておでこを打ち、後方に転倒し、床に左胸を打って負傷した。	54	500 ～ 999
7	14～ 15	2階作業場の床から1階までの階段をモップ掛け掃除中、下から3段目辺りで足を踏み外し、転倒した。その際、手すりに掴ろうとして、壁に右手小指をぶつけた。様子を見ていたが、痛みがあったため病院へ行ったところ、骨折と診断された。	54	30～ 49
7	17～ 18	会社内配送センター1階豆腐包装室および冷蔵庫内にて、商品の入ったコンテナが乗っていた台車のコンテナを空台車に移す作業の途中に、台車が動いて足に引っ掛かり、前に転倒した際に手首を捻った。	51	100 ～ 299
7	9～ 10	原料切り込み場において清掃中、足を滑らせ転倒した。その際、右手を地面に打ちつけて骨折した。	46	10～ 29
7	8～9	工場内において作業前準備中、誤って足が滑り、左足ふくらはぎ部分を痛めた。	27	30～ 49
7	16～ 17	工場内において、被災者が使用済みのアルコールボトル（小型・軽量、霧吹きスプレーサイズ）を洗浄しようと、洗浄室内に入ろうとした際に、踏み出した左足を床で滑らせ、バランスを崩して後方へ転倒し、左手と腰を強打して負傷した。	62	30～ 49
7	17～ 18	運動後、別室へ移動していた際、躓いて転倒した。その際に左側から転倒し、肩を強打して動けなくなり、救急車で搬送された。	45	50～ 99
	21～	デリカセンター盛付成形室で、空のシャリボックスを積んだ六輪カート2台を引		100

7	22	いて移動していたとき、商品の入ったコンテナ（高さ50cm程）に左足がぶつか り、体を捻って倒れ、右の臀部を床に打ちつけた。	52 299	～
7	20～ 21	炭火焼成担当の被災者は、夜勤のため出勤し、炭火焼成のため炭火焼成室へ運搬 後、隣接するPC冷蔵庫へ焼成する肉を取りに歩いて移動していた。PC冷蔵庫前 で左折しようとしたところ、左足を滑らせ、仰向けに転倒し、後頭部と腰を床面 で打ち負傷した。被災場所の床面は、日勤作業後のサニテーションが十分に出来 ていなかったため、滑り易い状態となっていた。	65 999	500 ～
7	3～4	受傷当日、明け方に出勤し（夜間勤務）、作業服に着替えて就業場所に向う途 中、腕カバーを取ってくることを忘れ、引き返す途中、2階から1階の職場に向う 廊下の曲り角で、床面が濡れた箇所で滑って転倒し、骨折した。	57 499	300 ～
9	11～ 12	食品の詰め作業の際、容器を置くために床に敷いてあったダンボールにつまずい て転倒。右ひざをひねったか、床についたかして骨折した。	55	10～ 29
9	11～ 12	食堂ホール内にて、会議用テーブルを運んでいたところ、転倒し机が落下し、股 関節付近を強打した。	56	10～ 29
9	14～ 15	就業中、調理室にて洗浄作業の際トレーを持って歩いている時、計りの前床に置 いてあった残飯の入った袋に気付かずよけようと足を捻ってしまい、左足小指の 付け根中足骨を痛めた。	44	1～9
9	7～8	食堂で味噌汁をトレーに載せて配膳中、車椅子の利用者が配膳しているすぐ近く に着席した為、利用者を避けようとした所、バランスを崩し転倒した。	64	1～9
9	13～ 14	樹脂板洗浄室において、ラックを殺菌庫に入れる作業中に足を滑らせ転倒した。 体を支えようと右肩に負担がかかり受傷、又、転倒の際に床のレフレ部分に右肋 骨を打ち受傷した。ラックを両手で押しながら掴んでいたが、手も滑り転倒を防 げなかった。	64	50～ 99
9	4～5	当社、デザートトッピング室で作業中にロール巻き作業への移動中に、ナッペマ シンコードの段差に足を引っかけて、すべり転倒した。	46	500 ～ 999
		清掃作業中、足元に伸びていたホースに気付かず、ホースに足を引っ掛けて転倒		100

9	4~5	し、左膝を強打し負傷した。	54	~ 299
9	7~8	小学校の給食室で小松菜を切っていたところ、他のシンクに溜めていた水が一杯になり、水を止めるために急いでシンクに移動した際、濡れた床で滑って右足が前方に流れたために左膝を強く床に打ってしまい、左膝の皿が割れてしまったものである。	56	10~ 29
9	0~1	商品を検査する際に、台車を足もとに準備し、別の仕事を終え、戻ろうとした際に準備していた台車を踏んでしまい転倒、右足膝を打ち皿を骨折した。	57	300 ~ 499
9	12~ 13	厚揚げを包装中、左足が台車に接触して転倒し、頭部を机にぶつけ、また肋骨に商品を入れたカゴがぶつかった。	68	30~ 49
9	17~ 18	事業場内にて鳥五目の具材の仕込み作業に従事中、汁の入った容器を台車に乗せて移動したところ、床下排水口の蓋が清掃のため開いていたことに気付かず、排水口に落下して転倒し左腰を打ち、肋骨を骨折したものである。	57	100 ~ 299
9	18~ 19	店内にて、惣菜厨房入口で、片付け作業中に床が油や水分で濡れていた為、足を滑らせ転倒した際に、右手を壁に押し付けて右手甲を受傷した。	61	10~ 29
9	11~ 12	工場内で生葉の受け入れ作業を行うため移動している時に転倒し、右の額を打撲した。	75	10~ 29
9	12~ 13	派遣社員がホルモン包装室にて、洗浄したホルモンを入れる為の空箱を台車に移動させる際に、誤って足下にある台車に左足を乗せてしまい転倒、肋骨に骨折を負った。	58	300 ~ 499
9	7~8	被災者が夜勤業務を終えた後、工場内で休息していた、期間中に実施していた定期健康診断を受診するため、1F廊下を食堂から会議室へ移動していたところ、男子トイレから出てきた従業員と衝突し、尻餅をつくような形で転倒した際、腰部を痛めた。	57	500 ~ 999
9	18~ 19	勤務終了後駐車場にある車まで行く時、駐車場内の車止めブロックに足を引っかけ転倒した、その際、右膝を強打した。	61	100 ~

				299
9	10～ 11	厨房でつまずいてしまい転倒、恥骨骨折、全治1ヶ月程度である。	70	30～ 49
9	13～ 14	洗浄室で洗浄機のスイッチを入れようと歩いていたところ、床のグレーチングの穴に長くつの先がひっかかって前のめりにこけた、その際、右手を床につき胸を打った、顎はグレーチングで裂傷を負った。	57	50～ 99
9	15～ 16	作業終了にあたり左足をパレット上に、右足はフローア-上にある体勢で右手を伸ばし奥の機械のスイッチを切った、その後あとずさりした時、左足首がパレット上の空フレコンの吊りベルトに引っかかり体勢が崩れ後方に転倒する際、とっさに右足に体重が乗った状態で体をひねった為、右膝蓋靭帯を断裂した。	47	10～ 29
9	9～ 10	事業所1階の現場事務所前において、被災者が空のバットをキャスターに乗せて運搬中、脇にあったハンドリフトにつまずいて転倒し、床で右膝を打った。	65	50～ 99
9	22～ 23	生産終了後にタンクを運搬中、床にこぼれていたうどん麺を踏み靴底に麺が付着して、すべり転倒して、尻、腰を打撲した。	62	100 ～ 299
9	15～ 16	トイレから戻って来て漬け込みを始める前に、ボールやカップを取りに行く途中、排水溝近くの床面が鶏肉や豚肉の脂で滑りやすくなっていた為に、ヌメリで足元を滑らせて後ろ向きに倒れ、ステンレスの机に後頭部を打ち受診となっていたものである。	63	300 ～ 499
9	21～ 22	サンド盛付室にて作業終了後、帰ろうとしたところ、スイングドアの前で、名前を呼ばれて振り返った。その時、室外の方から別の従業員が室内に入ろうと、スイングドアを押した為、ドアのすぐ近くにいた本人は、そのドアに押され転倒、転倒時体を支えようと手をつき負傷した。	59	100 ～ 299
10	13～ 14	給食室で食器等の洗浄をするために移動しているとき、足元が滑り転倒した。とっさに手を伸ばした場所が、ステンレス板がはがれていて端が鋭利だったため負傷した。	57	30～ 49
		工場内、シャリクーラー室（炊飯したご飯を冷凍する前に低温にする部屋）を洗		

10	15～ 16	浄するため入室し、通路（三段程高くなっている）を下りる際、床に足を置いた瞬間、両足が滑り（手すりを掴んでいたが、バランスを崩した）転倒。左手を床についた時、負傷した。	52	50～ 99
10	6～7	作業終了時の靴を洗いジヤ洗浄を行うため水槽を通過しようとしたが、衛生担当が清掃作業を行っていた為、ホースが通路を塞ぐようになり跨ごうとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に右手をつき手首を痛めたが我慢し、翌日になっても痛みと腫れがあった。	62	50～ 99
10	11～ 12	精肉作業場で作業中、突起物等がない床で躓きバランスを崩し倒れそうになった為、左手をついたところ左手首が痛んだ。	59	30～ 49
10	10～ 11	調理室の流し台の前を通るときに、床が油で滑りやすい状態だったため、転んでお尻を強打した。	42	100 ～ 299
10	13～ 14	機内食を積んだカートを押して運搬していた際に転倒した。	26	100 ～ 299
10	14～ 15	給食センター調理場内で、床面を水道水ホースで清掃していたところ、水道水ホースが足に引っかかり転倒した。転倒した際に左膝を強打し左膝の骨折となった。	61	10～ 29
10	9～ 10	玄関入口で、副食を配達する為、副食の入ったコンテナ（41×69×H17cm、2～3kg）を持って玄関入口に入る際、右足首を捻り、右足首の靭帯を損傷した。	48	50～ 99
10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷した。	54	100 ～ 299
10	12～ 13	ジェットオーブンで使用済み鉄板を投入側シンクに置いて、取り手側に移動中、段差手前で滑って体左側部を下にした状態で転倒。転倒の際に左足を段差に引っ掛けてしまった。	59	500 ～ 999
		厨房内で、担当配送先の食材を受け取るために副厨房に入室する際、副厨房の		500

10	8～9	前、厨房前、回転釜周辺が滑りやすくなっていたため、滑って転倒し、尻餅を避けようと踏ん張った時に、足首を捻り骨折した。	51	～ 999
10	13～ 14	調理室で半製品の入ったコロ付きの角タンクを移動した際に床に油がこぼれていたことを本人も認識していたが、そのまま放置してしまいそこで滑ってしまい手をついてしまった。その際に左手首を骨折してしまった。	25	10～ 29
10	12～ 13	老人ホームの食堂厨房で食材の搬入作業を行っていた。事故当時は他の従業員が厨房内の側溝清掃のため側溝の蓋が外れた状態で、本人の不注意で足が側溝にひっかかり転倒した。転倒の際右手を床につき右手首を骨折、側溝そばに置いてあった金属製の側溝の蓋に右おでこをぶつけて切ってしまった。規模は小さく独立性はないため本社に包括している。	59	50～ 99
10	9～ 10	施設内で貯蔵タンクの通路付近を掃除していたところ、つまずき、転倒して左足向こう脛を切傷したもの。	66	1～9
10	4～5	生産終了後、11号ラインで方向転換しようとした際に、足元が滑り転倒した。その際に、横に設置してあったアルミ製のステップに背中から打ちつけ負傷した。負傷時、洗浄中であったために、作業靴は長靴に履き替えており、床は濡れていた。左側面の肋骨を1本骨折した。	58	300 ～ 499
10	16～ 17	工場2階に設置している洗浄場で洗浄作業をしていた時、足元に敷いてあるマットが滑り、転倒、右胸部を打撲し骨折した。	56	10～ 29
10	19～ 20	洗浄室にて夕食後の洗浄作業中に、持ち場から移動しようとしたとき、床に前置きしていたホースにつまずき転倒した。	60	30～ 49
10	11～ 12	商品切替え時必要な備品を取りに行った際、足元の水漏れに気づかず滑って尻餅をつく。	40	100 ～ 299
10	11～ 12	当社製造部内の加熱前のチャーシューをネットに入れる部署で、午前中の作業が終了し後片付けをして一段落した状態の時に、床にあった小さな肉片または脂分で足を滑べらせ、体がねじれた状態で転倒して足のつけ根を骨折した。	77	30～ 49
	17～	仕事が終わりに、会社の建物を出て門の手前でつまずいて、思いっきり転び、メガ		50～

10	18	ネ、靴も脱げて、咄嗟に右手を突いた。右の小指の間にひびが入り、40日間ギブスをはめる状況だった。	63	99
10	12～ 13	バケツ洗浄室で台車に積んであるバケツを後向きに引っぱっていたところ、床から出ている鉄柱に引っ掛かって後ろ向きに転倒し、腰や背中を打ったもの。	50	100～ 299
10	20～ 21	具材保管庫を歩いている時に、床が濡れて滑りやすくなっており、滑ってバランスを崩し、左ひざを床についたところ、左ひざの皿を骨折した。	60	500～ 999
10	11～ 12	工場1階製品冷凍庫内で製品のピッキング作業をしていた際、冷凍庫内の床が滑りやすくなっており、入り口に行こうとしたときに両足を同時に滑らせ、体が宙に浮いて後方に転倒し、床に左手をついたときに左手首に急に負荷がかかったもの。	65	300～ 499
10	7～8	組合本社工場内で下処理室から調理室へ移動する時に足洗い場で、滑って転倒。右手で体を支えるように倒れたため、右手首を骨折した。	67	30～ 49
10	1～2	惣菜加工場で炊飯ライン炊飯釜反転部分の部品に水をかけて洗浄していた際に足を滑らせて転倒し、左足くるぶしを骨折した。	61	100～ 299
10	8～9	工場内カット室で計量器を持って移動中に溝に足を取られて転倒し、両膝と右肘を床で打撲した。尚、溝は清掃中のため、フタは開いた状態であった。	57	100～ 299
10	15～ 16	職場内にて、給食調理作業の終了後の清掃中に、溝蓋（グレーチング）上をデッキブラシで清掃していたところ、足が滑って転倒し、背中を痛め、MRI検査を受けたところ、「骨折」であるとの最終結果が出た。	58	30～ 49
10	10～ 11	厨房にて、作業台と作業台の間を通り、その先の棚にあるものを取りに歩いていて、右へ曲がりかけてシンク横の棚の足に、右足がひっかかり、左斜め前方へうつぶせの状態転倒した。	63	50～ 99
10	7～8	事業所廊下にて、配達中に、通常には置いていない机が立ててあり、接触し、机	72	1～9

		が滑り、まわりこんで転び右膝を負傷した。		
10	10～ 11	工場調理場内で次の作業へ移るためビニール手袋を変えようと棚へ向かって歩いているとき、床が水で濡れていたため滑って転倒した。	46	30～ 49
10	9～ 10	給食センター下処理室にて、清掃作業中に倉庫扉の前から移動するとき、床が濡れていたため足を滑らせ転倒し、シンクの下にあるパイプに手が滑り込み、右中指を負傷した。	42	10～ 29
10	8～9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所に移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースをもったまま左側から転倒したため膝を強打した。	46	300 ～ 499
10	11～ 12	1階の工場では、みかんの選別作業をしていた。自分は10mぐらい離れた工場の入り口付近で別の作業をしていた時、選別機械の側で作業していた人が、みかんの汚れを落とすために動いていたモーターがインバーターの不具合で停止してしまい、側にいた作業員が処置に困り、慌てた様子で「急いで見に来てください」と大声で呼ばれたため、慌てて選別機械の方へ駆け寄っていく際に転倒し負傷した。	58	1～9
11	2～3	4番冷凍庫内において、具材の運搬作業をしていた、冷凍庫内が滑り易くなっていたため、滑って転倒した。	66	500 ～ 999
11	17～ 18	被災者は、当社工場敷地構内において、米穀加工業務に従事していたが、歩行中に足を滑らし仰向けに転倒した際、後頭部を床に打ちつけ負傷したものである。	37	50～ 99
11	16～ 17	被災者は、工場2階・4番冷凍室において、具材の運搬作業中、冷凍室の床が凍っていたのに気付かず、足を滑らせて転倒し、腰を強打した。	64	500 ～ 999
11	9～ 10	冷凍庫に原材料を取りに行ったところ、冷凍庫内のキャスター付棚のキャスター部分に原材料を梱包するバンドが輪の状態で絡まっており、その輪の中に足をとられ転倒した。体を右腕のみで支えてしまい右手首を骨折してしまった。	63	500 ～ 999

11	14～ 15	勤務終了間際、長靴の洗浄の為、流し場に洗剤を取りに行った際、流し場手前の鉄板の上で横すべりし、横倒しに転倒した。その際、右腕を強打し、痛みと痺れがあったが、間もなく勤務終了したため、直ぐに帰宅し、医療機関を受診したところ、骨折との診断を受けた。	55	50～ 99
11	12～ 13	車が農道から路外に逸脱し、車から降りて畑を歩いていたところ、暗くて側溝に気付かず、落ちてしまい、左足踵の骨折と顔面を損傷した。（帰社途中）	59	100 ～ 299
11	14～ 15	会社工場内において、建築資材の木材を自動制御の横架材加工ラインで加工作業中、センサー反応不良で機械停止となったため、材料を取り出そうと左手を入れ、材料を少し動かしたところ、センサーが反応し、機械が作動した拍子に、左手を挟まれ負傷した。	70	100 ～ 299
11	16～ 17	店のバックにて、キャベツの芯を取り除く作業の為、左手でキャベツを押さえ、右手で包丁を持ち、包丁の先端で芯を取り除こうとしたところ、誤って左手親指第一関節部分を裂傷し、腱断裂を負う。	58	300 ～ 499
11	14～ 15	鑄造工場において、次の作業場へ移動する為階段を下りていたところ、最後の一段を踏み外し左足から斜めに着地したため、左足小指部分を痛めた。	81	10～ 29
11	8～9	玄関ロータリー内庭園の樹木を1人で剪定中、足場になっていた枝が折れ庭園芝生の上に落下転倒し、右足親指を骨折した。	66	100 ～ 299
11	13～ 14	場内入り口から製造現場に出る為の鉄扉の先にある樹脂製の段差プレートで足を滑らせ転倒した。	59	100 ～ 299
11	13～ 14	巻物で使用する海苔を入れたカートを運搬中、ポリッシャー清掃中で濡れた場所を通った時に足を滑らせ転倒した。その際手を地面についたため、右肩峰あたりの筋を痛めた。	51	500 ～ 999
11	21～ 22	プラットホームを歩いていた時、電気が消えて暗かった為スロープの角で躓いて転倒し、左膝蓋骨骨折してしまった。	65	1～9

11	17～ 18	自社工場内で食品を冷凍板に並べる作業中に気分が悪くなり、目眩がした。作業を中止し、壁にもたれ掛かっていたところ意識が遠のき床に倒れ、その際に左頭部を打った。	44	100～ 299
11	12～ 13	当社工場加工室内において、脱気包装が必要な商品を空の籠を台車に乗せ取りに行く途中、当時床が水で濡れており、本人も少しばかり急いでいたため誤って滑って転倒した。転倒した時に左手を床に着き負傷したものである。	61	100～ 299
11	10～ 11	倉庫内での怪我である。預けてある当社在庫の茶葉を引き取りに行った。紙袋入り茶葉30kgを肩に担いで自社のトラックに移す作業中、歩いていた床面が10cmほど低くなる段差の場所で、右足が床面に着いたと同時にぐらつきながら右斜め前方に倒れ込んだ。（履物は運動靴）その際右足の小指付け根がグキッととなった。右足甲の部分打撲、右足小指付け根骨折となった。	31	10～ 29
11	14～ 15	工場内にて、人参の皮むき作業をする為に空のカゴ（約39cm×54cm×34cm）を手にとって移動した際、足元が見難かった為、床に材料を置くパレット（高さ約10cm）が置いてあることに気付かず躓いて転倒した。左膝を強打し負傷した。	65	50～ 99
11	9～ 10	食品工場内の食材倉庫内で台車に躓いて転倒した。入庫の際、照明を点灯せずに入室し、台車に気付かず棚に手をついた体勢で転倒し負傷した。	70	30～ 49
11	17～ 18	盛り付けトレーを落とし拾う為、屈んだ際バランスを崩し後ろに転倒しかけ、左腕で体を支えた為、肩、腕を打撲した。	55	50～ 99
11	7～8	3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するため、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を滑らせてでん部から転倒した。	37	50～ 99
11	8～9	洗浄室で洗浄準備をしている時に、足元のかごを置く台に躓き、目の前の移動式ラックに掴まろうとしたが、ストッパーを掛けていないため動き、そのまま正座の状態に強く両膝をついた。元々足が悪いため、踏ん張れない状態もあったと考えられる。	77	30～ 49
11	10～ 11	厨房洗浄室にて食器をカゴに収めようと振り返った時に転び、頭、首、腰をタイルの床で打った。	67	50～ 99

11	21～ 22	被災者は、惣菜2号ライン移動中、ゼリー状の残渣で滑り、左膝を床に打ち付け負傷した。	62	500 ～ 999
11	9～ 10	事務所で机の間を歩いている時、下に置いてあった箱に躓き転倒、頭に切り傷、左足股関節にヒビが入った。	52	100 ～ 299
11	8～9	カゴ車を倉庫より引き出し踊り場から（高さ65cm）地上に降ろす際に、本来であればフォークリフトにて行うものを急いでいた為に1人、人力で抱えて降ろそうとしてバランスを崩し、カゴ車ごと前のめりに倒れてしまい、カゴ車と地面の間に腕を挟まれたもので上腕骨折と指・肘の擦過傷を負った。再発防止対策として、重量物の積み降ろしには①フォークリフトを使用して降ろす②踊り場周囲に落下防止のガードレールをつける③フォークリフトが無い場合は、2人で作業し降ろすことを再度教育徹底した。	22	300 ～ 499
11	18～ 19	給食センターでの調理業務等を終え帰宅するため駐車場へ向かう途中の外階段で暗くて足元がよく見えず最後の一段（高さ14cm、幅24cm）を踏み外し転倒した。左足首に痛みがあったが自分で車を運転して帰宅し、翌朝病院を受診し、左足関節の捻挫で4週間の安静治療を要すると診断される。	61	50～ 99
11	11～ 12	ペットフード製造工場で、商品の裁断及び金属探知の作業をしていた時、後ろ向きで移動していた場所に電源コードがあったので、躓き転倒した時、右手で床をつき骨折する。	67	10～ 29
11	20～ 21	工場内の製造ラインで機械清掃の作業中、移動している時に水濡れの床面で滑り転倒し、お尻・背中・側頸部の順に床面で打撲した。	19	500 ～ 999
11	8～9	出勤時間中の工場敷地内玄関前階段にて、手すりを使用せず階段を昇歩中、二段目に足を上げようとした際に上がらず、階段二段目手前角の部分に足を掛けた状態になった際に、体勢が前のめりとなり、右手を付いて身体を支えたことで右手甲を受傷した。	50	100 ～ 299
		出荷準備の作業中、ゴミ箱に間違っ捨てたものを拾って引き返そうとした時、		

11	10～ 11	すぐそばに設置しているダンボール用テープ貼り機械のコードに足を引っ掛けて転んだ。この時、左足首を捻挫し、外側の骨にひびが入った。	38	50～ 99
11	11～ 12	給食厨房室にてガス台横にある配膳台に向かって歩いていたところ転倒し、左膝、右腕、顔面を打撲した。	64	100～ 299
11	17～ 18	玉ねぎの皮むき作業を行う現場で移動歩行中、湿っているような所を通った際に滑るような形で転び、右くるぶしを骨折した。	59	50～ 99
11	11～ 12	原料（ピーマン選果）を確認中、原料搬送用ベルト駆動用モーターに左足が躓き転倒した。（通路上）その際に右手を打ち骨折した。	65	50～ 99
12	8～9	開口部より製品を引き渡し後、作業場所に戻る為振り返ったとき足元が滑りキャリアにつまずいた。その際、周りに身体を支える物が無くそのまま前のめり状態で転倒し、目の前にあったコンテナに左目の下と目と鼻の間にコンテナの角部分を強打し、目の下に裂傷を負った。当日は、出血が収まってから病院で診察を受け、6針縫い、視力には支障はないと診断を受け、そのまま帰宅した。後日、抜糸の際に病院にてCT検査を行った結果、眼底部の骨折が判明し、手術となった。	54	100～ 299
12	12～13	製造現場洗浄コーナーにおいて、機械部品を洗浄している際、水が溜まっている床で足を滑らせ転倒し、シンクに右脇腹をぶつけた。	26	100～ 299
12	16～17	作業終了後の掃除で工場の外にゴミを捨てに行く途中、地面に雪が積もっていたため、滑って転倒し、転倒時に左手をついたため骨折した。	67	1～9
12	8～9	出勤時、敷地内の駐車場から工場のある建物へ歩いて向かっている際、凍結をしている所で足を滑らせ転倒し、腰と頭を地面に打った。	60	50～ 99
12	4～5	事業場の調理場にある盛り付け室において、角に置いてある台車に躓いてバランスを崩し、左膝のさらを床に強打した。仕事が終わって、病院を受診したところ、膝蓋骨骨折と診断された。	65	50～ 99
12	7～8	野菜ごみを捨てるため外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もっていた為、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面に	55	50～

		ついたところ体重がかかり、手首を痛めた。		99
12	10~11	会社敷地内で、仕事終了後、駐車場に停めてある自分の車のところに歩いて向かっているときに、路面が凍っており滑って両足を上にあげた状態で仰向けに転んでしまった。幸いに頭は打たなかったが、腰と左肩を打撲し、また転んだ衝撃でむち打ちの様に頸部に痛みを感じた。	69	30~ 49
12	20~21	勤務終了後、帰宅のため車輛駐車場へ行く路上にて滑り転倒した。当日は積雪があり、路面は凍結状態にて付近は薄暗く駐車場前の路面部分にて転倒した。転倒時に右手をつき、右手首骨折を負った。	65	10~ 29
12	17~18	調味料計量室内にて、両手で三温糖を持ち上げ後ろの容器に移動しようと振り向いた時に左足が台車に躓きバランスを崩し転倒し、作業台に頭・肩・膝を打った。	63	300 ~ 499
12	16~17	工場2階加工ライン室にて惣菜のパック詰め用のレンコンと筍を品出し補充していた時、床に落ちていたレンコンタレをふんで転倒し、右手をつき右手首を骨折した。	57	100 ~ 299
12	9~10	洗浄部にて、ケースの洗浄をしていた際、水で濡れた床ですべって頭を打った。	42	100 ~ 299
12	8~9	出勤時、第一工場食堂棟入口風除室にて発生した。出勤するため、食堂棟入口の風除室に入る時に右足を一歩目にして風除室に入り、次に左足を上げて着地させようとした時に左足を滑らせて足首をひねって転んでしまった。労災発生当日の天気は晴れており、地面（タイル）は乾いた状態であった。	46	50~ 99
12	10~11	水産包装値付4号機にて盛付コンベア付近を歩いて移動していたところ、前方にいた従業員の足と接触し、前のめりに転倒してしまい胸部を強打し打撲した。	57	300 ~ 499
12	0~1	工場内で、海老をトッピングしている時、海老の臭いで気分が悪くなり、水を飲みに行こうと歩いていた所、突然受け身もとらずに顔面から床に倒れた。	22	1000 ~ 9999

12	9~10	2階の番重置き場から洗浄済みの番重を運ぼうとした際に、台車のタイヤが排水溝のグレーチングに引っかかり、番重が崩れそうになったため支えようとしたところ、勢い余って左肩から転倒してしまった。	69	300 ~ 499
12	16~17	不良在庫を2階作業場から1階ゴミ庫へ運ぼうと、ステンレス台車に卵箱2つと段ボール箱2~3個をのせ、エレベーターに入る際、台車のタイヤがエレベーターの隙間にはまり、その反動で転倒し、右ひざをコンクリート床に強打した。	66	500 ~ 999
12	14~15	弁当の空容器の回収に顧客先を車で回っていた。顧客事業所で空容器を入れた給食用バット（カゴ状の入れ物）を両手で持って玄関を出たところをつまずき両ひざから倒れ落ち、段差のあるところを越えて転び、右肘を強打した。起き上がると右腕が動かない状態であり、会社へ連絡し病院へ連れていってもらった。仕事用に手袋・長靴を着用し、早足でいたところ足がもつれて転倒したようである。	61	10~ 29
12	16~17	包装作業終了直前に、製品搬送ラインを越えて戻る際、製品搬送ラインで足を引っ掛けて転倒し、床にあったダンボール置き台に左脇腹を当て負傷した。	20	100 ~ 299
12	11~12	デリカ作業場にて、片付け・弁当作りのとき、流し台の横にある食洗機の下に溜まった水で滑り、転倒した。その際、右肘・左膝を打撲し、右手首・右足首を捻挫した。	65	1~9
12	16~17	厨房で、床清掃のため水とレンジクリーナーを床全面に撒き、デッキブラシで磨き始めようとしたところ、足元が滑り尻もちをついた。転倒による負傷（打撲等）はなかったが、レンジクリーナーがついて濡れたままにしたため、翌日、尻もちをついた部分がたかれた。	28	10~ 29
12	9~10	工場内で作業中、トイレに行くために移動した際、野菜加工のために濡れた床で滑り、バランスを崩して転倒し、負傷した（長靴装着有り）。	69	30~ 49
12	10~11	工場の用水処理場において、2名でスチームトラップ取り替え作業のため、ボルト（フランジ用）を緩めようとしたが緩まなかった。そのため被災者が応援に入り、ソケットレンチの柄にパイプ（長さ1m）を差し込み体重を掛けたところ、レンチの根元（ヒンジ箇所）で破断し、体勢が崩れて右足首を捻って転倒した。	56	1000 ~ 9999

12	6~7	原料納品のためラックを運搬していた際、足を滑らせて転倒した。その際にラックを掴んだ右腕を捻ってしまい、右肩脱臼を負った。	72	50~ 99
12	14~15	パックしょうゆを取りに食品庫へ行った。仕込室から走って入ったときに、仕込室入口の壁寄りに置いてあった生ゴミの入ったビニール袋を踏んで滑って転倒し、左肘を強打した。	47	10~ 29
12	4~5	盛付室において、包装資材が入ったケースを両手で持ち移動していた際、置いてあった台車に躓き転倒し負傷した。	57	100 ~ 299
12	10~11	レトルト第1工場充填作業室内にて、年末大掃除のため壁および窓の清掃を実施中、被災者の後方5m先で、大掃除のため仮置きしていたパレット10枚を、フォークリフトを使って移動しようとするが爪が上手くささらず、ずれたパレットを直そうとする際に滑り落ちるように荷崩れした。その音を聞いて驚いた瞬間に、壁際床面と床面の段差に躓くような形で前方に転倒し、壁面に備え付けの水道蛇口と壁際床面にて左足前大腿部を強打した。	62	100 ~ 299
12	11~12	給食配膳室の西側にある水道付近で、水やりのじょうろを片づけていたとき、脇見をしながら移動した際、水道の流しの段差に躓き転倒した。なお、水やりは週一回午前中に行っており、用務員が中心となって行っているが、配膳室近くの鉢等、簡易なものについては、被災者が水やりをするのが慣習的行為になっていた。	72	10~ 29
12	15~16	製造終了後の機械の清掃作業中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に持ってステップを下り、床に右足をついた際に右足がそのままスリップして転倒し、その際に左足首を捻った。そのとき両手がふさがっていたため、ステップの手すりを持つことができず、転倒した際にも受け身の姿勢をとれなかった。	45	50~ 99
12	13~14	年末の大掃除を実施中に、普段より多くの物品が通路周辺に置かれていた。集塵機の扉を洗浄した水が床にこぼれたため、床のモップがけを行っていた。被災者がその場所を通ったとき、滑って転倒し受傷した。	47	300 ~ 499
				100

12	11~12	包装室で運搬作業中、後ろ向きに台車を引いていたところ、長靴の踵が引っ掛かり、後ろ向きに転倒した。	62	~ 299
12	5~6	盛り付け作業終了後、両手にゴミ袋を持ってゴミ庫へ行く途中、滑って転び、その際に右腕肘を強打し、骨折した。	73	~ 299
12	11~12	当社工場内で、次の作業をするために商品トレイを持って工場内を歩行中、床の水気で足を滑らせて後方へ転倒し、後頭部を負傷した。	60	10~ 29
12	19~20	勤務する野菜調理場（野菜部）にて、野菜切断機では商品（葉物）の価値が落ちるため、包丁とまな板を保管場所に取りに行く途中、調理台の間を曲がった際に、調理台の横にキャスター付きの運搬車があり、その台車に躓き転倒し、コンクリート床面で左膝を打撲した。	69	~ 300 499
12	6~7	出勤後、女子更衣室に作業服に着替えるため入室した際、自分のロッカーの一系列手前の、ワックス掛けがしてあった通路で足が滑り転倒し、尻底骨辺りを床面に当て、一時的に動くことができなくなった。	50	~ 300 499
12	8~9	トッピング室前通路にて、階段室からトッピング室に向けて移動中、就業開始時間に間に合わず気持ち焦っていたため、通路を走ってしまい、気がつくやうに転倒して頭部を打撲していた。	64	~ 300 499
12	14~15	昼食の洗浄中、食器カゴを取ろうと1~2歩前に進んだところ、排水溝の蓋につま先が引っ掛かり、前のめりに転び、右肘と右足付け根を強打した。	59	10~ 29
12	14~15	被災者は、収穫作業中、用足し（大便）のため作業場所を離れた。その際、段差のある畦畔付近で転倒し、左脛と左肩に打撲傷を負った。	70	1~9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)